

令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 鹿児島県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	鹿屋医療センター	2
-	大島病院	3
-	始良病院	4
-	薩南病院	5
-	北薩病院	6
鹿児島市	市立病院	7
枕崎市	市立病院	8
出水市	出水総合医療センター	9
垂水市	垂水中央病院	10
霧島市	医師会医療センター	11
南さつま市	市立坊津病院	12
肝付町	町立病院	13
公立種子島病院組合	公立種子島病院	14

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名					
病院名 鹿屋医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	13,834 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	10	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	182	57.1	53.9	54.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	186	55.8	52.8	53.2
平均在院日数(一般病床のみ)		9.9	10.2	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,588,256	
決算規模(千円)	921,475,579	
標準財政規模(千円)	484,250,625	
財政力指数	0.33868	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	197.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,634,731			
1 経常収益	4,632,871			
(1) 医業収益	3,259,966			
(うち修正医業収益)	3,126,176			
入院収益	2,147,869			
外来収益	934,472			
診療収入計	3,082,341			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	177,625			
(うち他会計負担金)	133,790			
(2) 医業外収益	1,372,905			
(うち国・都道府県補助金)	746,971			
(うち他会計補助・負担金)	434,674			
(うち長期前受金戻入)	179,960			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,860			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,086,964			
2 経常費用	4,086,964			
(1) 医業費用	3,861,805			
職員給与費	2,101,651	64.5	59.4	67.0
材料費	877,901	26.9	26.1	18.2
(うち薬品費)	520,701	16.0	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	329,525	10.1	11.8	9.4
減価償却費	243,554	7.5	8.7	10.2
経費	625,763	19.2	22.1	28.8
(うち委託料)	280,034	8.6	11.7	13.2
研究研修費	6,910			
資産減耗費	6,026			
(2) 医業外費用	225,159			
(うち支払利息)	43,790	1.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	545,907			
純損益	547,767			
累積欠損金	4,633,619			
経常収支比率	113.4		103.3	104.5
医業収支比率	84.4		85.5	80.1
修正医業収支比率	81.0		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	12.3		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	17.4		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.3		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	99.4		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	41,751,545
1 固定資産	24,542,472
(1) 有形固定資産	19,194,720
(2) 無形固定資産	163,820
(3) 投資その他の資産	5,183,932
2 流動資産	17,209,073
(1) 現金及び預金	15,416,731
(2) 未収金及び未収収益	1,769,236
(3) 貸倒引当金()	2,292
(4) 貯蔵品	25,398
3 繰延資産	-
負債合計	18,153,359
1 固定負債	10,275,117
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,415,185
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,859,932
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	3,340,184
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	570,635
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	607,329
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,060,647
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,538,058
(1) 長期前受金	13,803,612
(2) 長期前受金収益化累計額()	9,265,554
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	23,598,186
1 資本金	27,078,811
2 剰余金	-3,480,625
(1) 資本剰余金	583,197
(2) 利益剰余金	-4,063,822
負債・資本合計	41,751,545
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	568,246	568,464
資本勘定繰入	246,374	246,344
計	814,620	814,808

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名					
病院名 大島病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	26,419 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	331	62.1	67.7	62.0
療養	-	-	-	-
結核	15	3.0	2.0	4.9
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	350	58.9	64.2	58.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	12.0	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	1,588,256	
決算規模(千円)	921,475,579	
標準財政規模(千円)	484,250,625	
財政力指数	0.33868	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	197.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,970,286			
1 経常収益	8,970,286			
(1) 医業収益	6,904,662			
(うち修正医業収益)	6,346,058			
入院収益	4,473,755			
外来収益	1,777,247			
診療収入計	6,251,002			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	653,660			
(うち他会計負担金)	558,604			
(2) 医業外収益	2,065,624			
(うち国・都道府県補助金)	864,987			
(うち他会計補助・負担金)	925,831			
(うち長期前受金戻入)	232,024			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,254,201			
2 経常費用	8,254,201			
(1) 医業費用	7,927,046			
職員給与費	4,565,221	66.1	59.4	59.0
材料費	1,696,755	24.6	26.1	25.6
(うち薬品費)	938,542	13.6	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	691,519	10.0	11.8	11.2
減価償却費	441,910	6.4	8.7	8.6
経費	1,198,277	17.4	22.1	21.3
(うち委託料)	651,878	9.4	11.7	11.6
研究研修費	19,124			
資産減耗費	5,759			
(2) 医業外費用	327,155			
(うち支払利息)	3,629	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	716,085			
純損益	716,085			
累積欠損金	-			
経常収支比率	108.7		103.3	104.8
医業収支比率	87.1		85.5	87.0
修正医業収支比率	80.1		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	16.5		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	21.5		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	16.5		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	90.7		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	41,751,545
1 固定資産	24,542,472
(1) 有形固定資産	19,194,720
(2) 無形固定資産	163,820
(3) 投資その他の資産	5,183,932
2 流動資産	17,209,073
(1) 現金及び預金	15,416,731
(2) 未収金及び未収収益	1,769,236
(3) 貸倒引当金()	2,292
(4) 貯蔵品	25,398
3 繰延資産	-
負債合計	18,153,359
1 固定負債	10,275,117
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,415,185
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,859,932
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	3,340,184
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	570,635
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	607,329
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,060,647
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,538,058
(1) 長期前受金	13,803,612
(2) 長期前受金収益化累計額()	9,265,554
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	23,598,186
1 資本金	27,078,811
2 剰余金	-3,480,625
(1) 資本剰余金	583,197
(2) 利益剰余金	-4,063,822
負債・資本合計	41,751,545
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,484,406	1,484,435
資本勘定繰入	76,666	76,666
計	1,561,072	1,561,101

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		鹿児島県	
市町村・組合名			
病院名	始良病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	15,604 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	2	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	334	74.6	76.0	74.8
感染症	-	-	-	-
計	334	74.6	76.0	74.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	1,588,256
決算規模(千円)	921,475,579
標準財政規模(千円)	484,250,625
財政力指数	0.33868
経常収支比率(%)	97.8
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	11.4
将来負担比率(%)	197.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,314,096			
1 経常収益	3,314,096			
(1) 医業収益	2,265,301			
(うち修正医業収益)	2,250,475			
入院収益	1,917,067			
外来収益	322,647			
診療収入計	2,239,714			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	25,587			
(うち他会計負担金)	14,826			
(2) 医業外収益	1,048,795			
(うち国・都道府県補助金)	119,889			
(うち他会計補助・負担金)	830,797			
(うち長期前受金戻入)	79,707			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,772,944			
2 経常費用	2,772,944			
(1) 医業費用	2,673,960			
職員給与費	1,782,854	78.7	59.4	105.1
材料費	321,800	14.2	26.1	9.8
(うち薬品費)	223,429	9.9	14.0	6.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	29,363	1.3	11.8	1.6
減価償却費	170,599	7.5	8.7	12.8
経費	394,368	17.4	22.1	35.3
(うち委託料)	211,192	9.3	11.7	17.0
研究研修費	3,831			
資産減耗費	508			
(2) 医業外費用	98,984			
(うち支払利息)	568	-	1.0	2.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	541,152			
純損益	541,152			
累積欠損金	-			
経常収支比率	119.5		103.3	101.8
医業収支比率	84.7		85.5	61.1
修正医業収支比率	84.2		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	25.5		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	37.3		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	25.5		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	89.0		91.9	68.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	41,751,545
1 固定資産	24,542,472
(1) 有形固定資産	19,194,720
(2) 無形固定資産	163,820
(3) 投資その他の資産	5,183,932
2 流動資産	17,209,073
(1) 現金及び預金	15,416,731
(2) 未収金及び未収収益	1,769,236
(3) 貸倒引当金()	2,292
(4) 貯蔵品	25,398
3 繰延資産	-
負債合計	18,153,359
1 固定負債	10,275,117
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,415,185
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,859,932
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	3,340,184
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	570,635
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	607,329
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,060,647
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,538,058
(1) 長期前受金	13,803,612
(2) 長期前受金収益化累計額()	9,265,554
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	23,598,186
1 資本金	27,078,811
2 剰余金	-3,480,625
(1) 資本剰余金	583,197
(2) 利益剰余金	-4,063,822
負債・資本合計	41,751,545
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	845,282	845,623
資本勘定繰入	105,846	105,846
計	951,128	951,469

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名					
病院名 薩南病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	11,540 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	10	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	151	50.5	54.5	56.0
療養	-	-	-	-
結核	20	0.1	0.4	0.2
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	175	43.6	47.0	48.3
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	12.1	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	1,588,256	
決算規模(千円)	921,475,579	
標準財政規模(千円)	484,250,625	
財政力指数	0.33868	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	197.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,182,577			
1 経常収益	3,182,577			
(1) 医業収益	2,485,211			
(うち修正医業収益)	2,371,078			
入院収益	1,638,528			
外来収益	697,071			
診療収入計	2,335,599			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	149,612			
(うち他会計負担金)	114,133			
(2) 医業外収益	697,366			
(うち国・都道府県補助金)	370,702			
(うち他会計補助・負担金)	271,410			
(うち長期前受金戻入)	47,127			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,350,236			
2 経常費用	3,350,236			
(1) 医業費用	2,887,248			
職員給与費	1,689,633	68.0	59.4	67.0
材料費	661,394	26.6	26.1	18.2
(うち薬品費)	262,085	10.5	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	376,713	15.2	11.8	9.4
減価償却費	145,895	5.9	8.7	10.2
経費	382,936	15.4	22.1	28.8
(うち委託料)	189,440	7.6	11.7	13.2
研究研修費	3,277			
資産減耗費	4,113			
(2) 医業外費用	462,988			
(うち支払利息)	2,441	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	-167,659			
純損益	-167,659			
累積欠損金	1,748,492			
経常収支比率	95.0		103.3	104.5
医業収支比率	86.1		85.5	80.1
修正医業収支比率	82.1		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	12.1		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	15.5		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.1		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	83.5		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	41,751,545
1 固定資産	24,542,472
(1) 有形固定資産	19,194,720
(2) 無形固定資産	163,820
(3) 投資その他の資産	5,183,932
2 流動資産	17,209,073
(1) 現金及び預金	15,416,731
(2) 未収金及び未収収益	1,769,236
(3) 貸倒引当金()	2,292
(4) 貯蔵品	25,398
3 繰延資産	-
負債合計	18,153,359
1 固定負債	10,275,117
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,415,185
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,859,932
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	3,340,184
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	570,635
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	607,329
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,060,647
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,538,058
(1) 長期前受金	13,803,612
(2) 長期前受金収益化累計額()	9,265,554
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	23,598,186
1 資本金	27,078,811
2 剰余金	-3,480,625
(1) 資本剰余金	583,197
(2) 利益剰余金	-4,063,822
負債・資本合計	41,751,545
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	383,516	385,543
資本勘定繰入	23,457	23,453
計	406,973	408,996

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名					
病院名 北薩病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	11,704 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	9	指定病院の状況	救臨感へ災	輪	
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	146	33.9	41.2	44.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	150	33.0	40.1	43.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	15.9	14.7

設立団体の状況		
人口(人)		1,588,256
決算規模(千円)		921,475,579
標準財政規模(千円)		484,250,625
財政力指数		0.33868
経常収支比率(%)		97.8
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	197.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,966,046			
1 経常収益	1,966,046			
(1) 医業収益	1,437,362			
(うち修正医業収益)	1,325,197			
入院収益	792,286			
外来収益	496,807			
診療収入計	1,289,093			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	148,269			
(うち他会計負担金)	112,165			
(2) 医業外収益	528,684			
(うち国・都道府県補助金)	252,763			
(うち他会計補助・負担金)	219,592			
(うち長期前受金戻入)	47,859			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,092,899			
2 経常費用	2,092,899			
(1) 医業費用	2,016,178			
職員給与費	1,246,981	86.8	59.4	67.0
材料費	231,416	16.1	26.1	18.2
(うち薬品費)	142,687	9.9	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	75,582	5.3	11.8	9.4
減価償却費	151,151	10.5	8.7	10.2
経費	381,041	26.5	22.1	28.8
(うち委託料)	203,411	14.2	11.7	13.2
研究研修費	3,138			
資産減耗費	2,451			
(2) 医業外費用	76,721			
(うち支払利息)	135	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-126,853			
純損益	-126,853			
累積欠損金	6,558,897			
経常収支比率	93.9		103.3	104.5
医業収支比率	71.3		85.5	80.1
修正医業収支比率	65.7		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	16.9		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	23.1		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	16.9		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	78.1		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	41,751,545
1 固定資産	24,542,472
(1) 有形固定資産	19,194,720
(2) 無形固定資産	163,820
(3) 投資その他の資産	5,183,932
2 流動資産	17,209,073
(1) 現金及び預金	15,416,731
(2) 未収金及び未収収益	1,769,236
(3) 貸倒引当金()	2,292
(4) 貯蔵品	25,398
3 繰延資産	-
負債合計	18,153,359
1 固定負債	10,275,117
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,415,185
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,859,932
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	3,340,184
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	570,635
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	607,329
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,060,647
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,538,058
(1) 長期前受金	13,803,612
(2) 長期前受金収益化累計額()	9,265,554
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	23,598,186
1 資本金	27,078,811
2 剰余金	-3,480,625
(1) 資本剰余金	583,197
(2) 利益剰余金	-4,063,822
負債・資本合計	41,751,545
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	331,738	331,757
資本勘定繰入	26,127	26,127
計	357,865	357,884

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名		鹿児島市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	51,227 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救急が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	568	78.1	81.7	84.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	67.2	50.7	30.4
計	574	78.0	81.4	83.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.3	11.4	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	593,128	
決算規模(千円)	284,550,019	
標準財政規模(千円)	136,943,985	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	25.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	25,381,463			
1 経常収益	25,381,463			
(1) 医業収益	22,136,393			
(うち修正医業収益)	21,932,318			
入院収益	15,536,607			
外来収益	6,116,914			
診療収入計	21,653,521			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	482,872			
(うち他会計負担金)	204,075			
(2) 医業外収益	3,245,070			
(うち国・都道府県補助金)	2,112,139			
(うち他会計補助・負担金)	595,173			
(うち長期前受金戻入)	372,601			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,905,729			
2 経常費用	24,904,642			
(1) 医業費用	23,443,625			
職員給与費	11,206,838	50.6	59.4	52.8
材料費	7,348,212	33.2	26.1	31.5
(うち薬品費)	3,747,988	16.9	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,596,653	16.2	11.8	13.9
減価償却費	1,635,284	7.4	8.7	7.7
経費	3,129,966	14.1	22.1	18.0
(うち委託料)	1,782,420	8.1	11.7	10.7
研究研修費	99,147			
資産減耗費	24,178			
(2) 医業外費用	1,461,017			
(うち支払利息)	264,441	1.2	1.0	0.9
(3) 特別損失	1,087			
損益	476,821			
純損益	475,734			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.9		103.3	102.8
医業収支比率	94.4		85.5	90.3
修正医業収支比率	93.6		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	3.1		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	3.6		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	3.1		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	98.7		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	41,053,800
1 固定資産	23,584,765
(1) 有形固定資産	22,809,484
(2) 無形固定資産	155
(3) 投資その他の資産	775,126
2 流動資産	17,469,035
(1) 現金及び預金	13,203,214
(2) 未収金及び未収収益	4,168,484
(3) 貸倒引当金()	4,930
(4) 貯蔵品	101,787
3 繰延資産	-
負債合計	29,912,424
1 固定負債	23,828,464
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,750,771
(2) その他の企業債	329,360
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,748,333
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	4,509,532
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,400,842
(2) その他の企業債	120,820
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	637,621
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,258,944
(9) 前受金及び前受収益	1,800
3 繰延収益	1,574,428
(1) 長期前受金	2,901,758
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,327,330
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	11,141,376
1 資本金	9,220,766
2 剰余金	1,920,610
(1) 資本金剰余金	279,260
(2) 利益剰余金	1,641,350
負債・資本合計	41,053,800
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	826,091	799,248
資本勘定繰入	752,049	684,433
計	1,578,140	1,483,681

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名		枕崎市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,618 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	1	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	26	66.5	68.3	77.7
療養	29	92.9	84.6	72.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	80.4	76.9	74.2
平均在院日数(一般病床のみ)		23.2	19.1	16.6

設立団体の状況		
人口(人)	20,033	
決算規模(千円)	15,028,076	
標準財政規模(千円)	6,359,339	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	87.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	755,452			
1 経常収益	755,452			
(1) 医業収益	552,499			
(うち修正医業収益)	538,401			
入院収益	403,790			
外来収益	116,199			
診療収入計	519,989			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	32,510			
(うち他会計負担金)	14,098			
(2) 医業外収益	202,953			
(うち国・都道府県補助金)	61,548			
(うち他会計補助・負担金)	96,755			
(うち長期前受金戻入)	30,155			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	693,374			
2 経常費用	693,374			
(1) 医業費用	661,773			
職員給与費	407,125	73.7	59.4	76.5
材料費	37,416	6.8	26.1	14.9
(うち薬品費)	23,101	4.2	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,315	2.6	11.8	6.4
減価償却費	51,128	9.3	8.7	11.5
経費	161,893	29.3	22.1	32.6
(うち委託料)	58,761	10.6	11.7	14.8
研究研修費	4,160			
資産減耗費	51			
(2) 医業外費用	31,601			
(うち支払利息)	8,198	1.5	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	62,078			
純損益	62,078			
累積欠損金	-			
経常収支比率	109.0		103.3	101.5
医業収支比率	83.5		85.5	73.2
修正医業収支比率	81.4		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	14.7		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	20.1		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	14.7		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	93.0		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,273,868
1 固定資産	662,028
(1) 有形固定資産	661,955
(2) 無形固定資産	73
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	611,840
(1) 現金及び預金	482,855
(2) 未収金及び未収収益	121,569
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	5,428
3 繰延資産	-
負債合計	811,133
1 固定負債	447,069
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	399,703
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	47,366
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	73,259
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,954
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,407
(6) リ一ス債務	1,107
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	20,670
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	290,805
(1) 長期前受金	549,844
(2) 長期前受金収益化累計額()	259,039
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	462,735
1 資本金	102,295
2 剰余金	360,440
(1) 資本剰余金	157,402
(2) 利益剰余金	203,038
負債・資本合計	1,273,868
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	110,853	110,853
資本勘定繰入	12,587	12,587
計	123,440	123,440

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名	出水市				
病院名	出水総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	19,861 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	257	64.9	58.4	61.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	0.3	2.3
計	261	63.9	57.5	60.5
平均在院日数(一般病床のみ)		17.6	20.7	21.5

設立団体の状況		
人口(人)	51,994	
決算規模(千円)	29,632,397	
標準財政規模(千円)	16,303,809	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	89.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,179,624			
1 経常収益	6,179,624			
(1) 医業収益	4,627,487			
(うち修正医業収益)	4,581,162			
入院収益	3,061,834			
外来収益	1,387,709			
診療収入計	4,449,543			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	177,944			
(うち他会計負担金)	46,325			
(2) 医業外収益	1,552,137			
(うち国・都道府県補助金)	941,659			
(うち他会計補助・負担金)	386,744			
(うち長期前受金戻入)	169,510			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,352,616			
2 経常費用	5,352,616			
(1) 医業費用	5,070,090			
職員給与費	2,772,204	59.9	59.4	63.7
材料費	1,033,716	22.3	26.1	21.0
(うち薬品費)	415,229	9.0	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	567,788	12.3	11.8	10.1
減価償却費	337,555	7.3	8.7	9.7
経費	908,662	19.6	22.1	28.9
(うち委託料)	276,902	6.0	11.7	13.6
研究研修費	6,532			
資産減耗費	11,421			
(2) 医業外費用	282,526			
(うち支払利息)	28,743	0.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	827,008			
純損益	827,008			
累積欠損金	-			
経常収支比率	115.5		103.3	101.8
医業収支比率	91.3		85.5	80.8
修正医業収支比率	90.4		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	9.4		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	7.0		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	107.4		91.9	89.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,129,261
1 固定資産	3,167,197
(1) 有形固定資産	3,037,751
(2) 無形固定資産	16,782
(3) 投資その他の資産	112,664
2 流動資産	2,962,064
(1) 現金及び預金	1,968,702
(2) 未収金及び未収収益	970,297
(3) 貸倒引当金()	595
(4) 貯蔵品	21,585
3 繰延資産	-
負債合計	5,711,299
1 固定負債	3,805,630
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	947,671
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,572,000
(6) 引当金	1,283,220
(7) 一ス債務	2,511
2 流動負債	883,612
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	380,061
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	215,611
(6) リ一ス債務	1,256
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	268,512
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,022,057
(1) 長期前受金	2,297,920
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,275,863
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	417,962
1 資本金	94,938
2 剰余金	323,024
(1) 資本剰余金	2,278
(2) 利益剰余金	320,746
負債・資本合計	6,129,261
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	605,148	433,069
資本勘定繰入	282,742	180,786
計	887,890	613,855

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名		垂水市			
病院名		垂水中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,756 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	91	78.1	72.4	75.4
療養	35	81.7	83.7	79.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	126	79.1	75.6	76.5
平均在院日数(一般病床のみ)		19.7	17.9	17.2

設立団体の状況		
人口(人)	13,819	
決算規模(千円)	12,852,128	
標準財政規模(千円)	5,486,384	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	90.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	389,627			
1 経常収益	389,627			
(1) 医業収益	42,935			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	42,935			
(うち他会計負担金)	42,935			
(2) 医業外収益	346,692			
(うち国・都道府県補助金)	10,350			
(うち他会計補助・負担金)	177,047			
(うち長期前受金戻入)	66,579			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	259,131			
2 経常費用	259,131			
(1) 医業費用	244,697			
職員給与費	-	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	129,924	302.6	8.7	10.2
経費	114,289	266.2	22.1	28.8
(うち委託料)	-	-	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	484			
(2) 医業外費用	14,434			
(うち支払利息)	8,365	19.5	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	130,496			
純損益	130,496			
累積欠損金	-			
経常収支比率	150.4		103.3	104.5
医業収支比率	17.5		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	56.5		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	512.4		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	56.5		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	65.5		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,722,370
1 固定資産	1,074,486
(1) 有形固定資産	1,073,936
(2) 無形固定資産	550
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	647,884
(1) 現金及び預金	647,684
(2) 未収金及び未収収益	1,162
(3) 貸倒引当金()	962
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,030,564
1 固定負債	671,284
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	671,284
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	321,317
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	184,379
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	136,738
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	37,963
(1) 長期前受金	523,382
(2) 長期前受金収益化累計額()	485,419
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	691,806
1 資本金	362,950
2 剰余金	328,856
(1) 資本剰余金	113,365
(2) 利益剰余金	215,491
負債・資本合計	1,722,370
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	219,982	219,982
資本勘定繰入	87,802	87,802
計	307,784	307,784

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名		霧島市			
病院名		医師会医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	14,612 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	250	81.6	79.3	83.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	100.0	100.0	56.7
計	254	81.9	79.6	82.8
平均在院日数(一般病床のみ)		13.9	14.1	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	123,135	
決算規模(千円)	68,281,919	
標準財政規模(千円)	34,669,626	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	87.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,644,569			
1 経常収益	6,633,699			
(1) 医業収益	5,928,834			
(うち修正医業収益)	5,891,431			
入院収益	4,210,348			
外来収益	1,611,686			
診療収入計	5,822,034			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	106,800			
(うち他会計負担金)	37,403			
(2) 医業外収益	704,865			
(うち国・都道府県補助金)	409,484			
(うち他会計補助・負担金)	193,780			
(うち長期前受金戻入)	47,944			
(うち資本費繰入収益)	42,912			
(3) 特別利益	10,870			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,950,052			
2 経常費用	6,925,547			
(1) 医業費用	6,577,174			
職員給与費	14,967	0.3	59.4	63.7
材料費	-	-	26.1	21.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	297,803	5.0	8.7	9.7
経費	6,247,319	105.4	22.1	28.9
(うち委託料)	2,607,275	44.0	11.7	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	17,085			
(2) 医業外費用	348,373			
(うち支払利息)	13,494	0.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	24,505			
経常損益	-291,848			
純損益	-305,483			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.8		103.3	101.8
医業収支比率	90.1		85.5	80.8
修正医業収支比率	89.6		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	3.5		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	3.9		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	3.5		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	92.4		91.9	89.2

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,161,322
1 固定資産	5,149,557
(1) 有形固定資産	4,997,658
(2) 無形固定資産	124,626
(3) 投資その他の資産	27,273
2 流動資産	3,011,765
(1) 現金及び預金	1,897,084
(2) 未収金及び未収収益	1,115,262
(3) 貸倒引当金()	681
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,166,570
1 固定負債	1,401,612
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,401,612
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	1,258,750
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	194,671
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,152
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,057,563
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	506,208
(1) 長期前受金	1,075,278
(2) 長期前受金収益化累計額()	569,070
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,994,752
1 資本金	1,908,933
2 剰余金	3,085,819
(1) 資本剰余金	921,318
(2) 利益剰余金	2,164,501
負債・資本合計	8,161,322
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	231,183	231,183
資本勘定繰入	89,226	42,912
計	320,409	274,095

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名		南さつま市			
病院名		市立坊津病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,597 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	26	43.7	47.6	101.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	26	43.7	47.6	101.3
平均在院日数(一般病床のみ)		19.7	20.9	21.5

設立団体の状況		
人口(人)	32,887	
決算規模(千円)	31,932,370	
標準財政規模(千円)	12,875,979	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	91.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	462,496			
1 経常収益	462,496			
(1) 医業収益	313,800			
(うち修正医業収益)	277,506			
入院収益	176,989			
外来収益	86,094			
診療収入計	263,083			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	50,717			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	148,696			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	115,738			
(うち長期前受金戻入)	17,256			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	429,313			
2 経常費用	429,313			
(1) 医業費用	425,578			
職員給与費	286,071	91.2	59.4	87.7
材料費	14,245	4.5	26.1	13.6
(うち薬品費)	9,008	2.9	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	5,237	1.7	11.8	5.9
減価償却費	25,367	8.1	8.7	12.7
経費	98,185	31.3	22.1	45.1
(うち委託料)	44,522	14.2	11.7	21.3
研究研修費	337			
資産減耗費	1,373			
(2) 医業外費用	3,735			
(うち支払利息)	3,735	1.2	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
損益	33,183			
純損益	33,183			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.7		103.3	101.7
医業収支比率	73.7		85.5	62.5
修正医業収支比率	65.2		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	32.9		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	48.4		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	32.9		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	72.3		91.9	67.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	766,656
1 固定資産	533,659
(1) 有形固定資産	533,659
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	232,997
(1) 現金及び預金	148,030
(2) 未収金及び未収収益	82,760
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,207
3 繰延資産	-
負債合計	411,806
1 固定負債	176,489
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	175,711
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	778
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	53,434
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,816
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	13,836
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	22,782
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	181,883
(1) 長期前受金	299,919
(2) 長期前受金収益化累計額()	118,036
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	354,850
1 資本金	321,388
2 剰余金	33,462
(1) 資本剰余金	3,492
(2) 利益剰余金	29,970
負債・資本合計	766,656
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	152,032	152,032
資本勘定繰入	12,325	12,325
計	164,357	164,357

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名	肝付町				
病院名	町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,371 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	40	46.6	39.1	44.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	46.6	39.1	44.2
平均在院日数(一般病床のみ)		20.1	19.8	18.6

設立団体の状況		
人口(人)	14,227	
決算規模(千円)	11,115,008	
標準財政規模(千円)	6,186,906	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	585,148			
1 経常収益	577,271			
(1) 医業収益	305,896			
(うち修正医業収益)	244,157			
入院収益	144,070			
外来収益	81,354			
診療収入計	225,424			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	80,472			
(うち他会計負担金)	61,739			
(2) 医業外収益	271,375			
(うち国・都道府県補助金)	2,259			
(うち他会計補助・負担金)	250,219			
(うち長期前受金戻入)	16,629			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,877			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	602,640			
2 経常費用	601,552			
(1) 医業費用	586,240			
職員給与費	327,259	107.0	59.4	87.7
材料費	42,996	14.1	26.1	13.6
(うち薬品費)	22,675	7.4	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,321	6.6	11.8	5.9
減価償却費	43,907	14.4	8.7	12.7
経費	170,322	55.7	22.1	45.1
(うち委託料)	52,864	17.3	11.7	21.3
研究研修費	557			
資産減耗費	1,199			
(2) 医業外費用	15,312			
(うち支払利息)	382	0.1	1.0	1.0
(3) 特別損失	1,088			
損益	経常損益	-24,281		
	純損益	-17,492		
累積欠損金	226,919			
経常収支比率	96.0		103.3	101.7
医業収支比率	52.2		85.5	62.5
修正医業収支比率	41.6		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	54.0		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	102.0		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	53.3		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	44.1		91.9	67.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	621,493
1 固定資産	438,559
(1) 有形固定資産	438,509
(2) 無形固定資産	50
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	182,934
(1) 現金及び預金	129,491
(2) 未収金及び未収収益	46,223
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,220
3 繰延資産	-
負債合計	260,168
1 固定負債	97,772
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	97,772
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	62,558
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,401
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	20,413
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,438
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	99,838
(1) 長期前受金	258,880
(2) 長期前受金収益化累計額()	159,042
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	361,325
1 資本金	588,244
2 剰余金	-226,919
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-226,919
負債・資本合計	621,493
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	192,082	311,958
資本勘定繰入	13,096	13,096
計	205,178	325,054

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	74.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名	公立種子島病院組合				
病院名	公立種子島病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,126 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救感輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	55.3	52.6	60.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	77.5	52.3	4.4
計	62	56.0	52.5	58.6
平均在院日数(一般病床のみ)		19.9	18.9	26.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,085,222			
1 経常収益	1,077,672			
(1) 医業収益	762,778			
(うち修正医業収益)	726,484			
入院収益	322,978			
外来収益	321,471			
診療収入計	644,449			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	118,329			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	314,894			
(うち国・都道府県補助金)	102,137			
(うち他会計補助・負担金)	120,775			
(うち長期前受金戻入)	86,533			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,550			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,023,130			
2 経常費用	1,015,580			
(1) 医業費用	936,973			
職員給与費	570,066	74.7	59.4	76.5
材料費	114,236	15.0	26.1	14.9
(うち薬品費)	48,861	6.4	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	65,375	8.6	11.8	6.4
減価償却費	88,763	11.6	8.7	11.5
経費	161,303	21.1	22.1	32.6
(うち委託料)	79,129	10.4	11.7	14.8
研究研修費	913			
資産減耗費	1,692			
(2) 医業外費用	78,607			
(うち支払利息)	23,184	3.0	1.0	1.3
(3) 特別損失	7,550			
損益	62,092			
純損益	62,092			
累積欠損金	562,181			
経常収支比率	106.1		103.3	101.5
医業収支比率	81.4		85.5	73.2
修正医業収支比率	77.5		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	14.6		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	20.6		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	14.5		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	90.6		91.9	78.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,263,837
1 固定資産	1,840,403
(1) 有形固定資産	1,839,192
(2) 無形固定資産	151
(3) 投資その他の資産	1,060
2 流動資産	423,434
(1) 現金及び預金	388,683
(2) 未収金及び未収収益	26,843
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,908
3 繰延資産	-
負債合計	2,140,859
1 固定負債	1,311,993
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,289,541
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	22,452
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	306,630
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	106,248
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リ一ス債務	1,356
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	179,040
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	522,236
(1) 長期前受金	1,203,744
(2) 長期前受金収益化累計額()	681,508
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	122,978
1 資本金	609,880
2 剰余金	-486,902
(1) 資本金剰余金	8,758
(2) 利益剰余金	-495,660
負債・資本合計	2,263,837
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	136,289	157,069
資本勘定繰入	76,487	118,219
計	212,776	275,288

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	73.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。